

国語科パート(1年ブロック)

単元名 めざせ！クイズ名人 ～まきものへん～

学習材名 「だれが、たべたのでしょうか」

(目指す児童像) 説明文のつくりを理解し、読むことを通じて新しい知識を得ることを、主体的に楽しめる子。

つきたい力

(領域) 「C 読むこと」

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

① 説明文を読む力

基本的な説明文のつくりを理解し、本文に書かれた内容を読み取れるようになる。

② 探究する力

本を読む楽しさを知り、自分から進んで新たな知識を得ようとするようになる。

③ 自分の考えを表す力

問いと答えからなる簡単な文を書けるようになる。

<学習内容の確実な定着を図る指導の工夫・改善>

① 学習内容の確実な定着を図る工夫・改善

① ワークシートの工夫

「問い」と「答え」や説明文の構成が意識できる巻物型のワークシートを作成する。

② 板書の工夫

文のマークを使い分け、文章の構成が見える化する。

③ 教材提示の工夫

I C Tの活用をする。

② 自己・相互評価の工夫

① 振り返りの時間を確保する。

② 伝え合いの工夫

友達と問題を出し合うことで、問いと答えの文章が書けたかどうか、確認する。

<学習意欲を高める指導の工夫・改善>

③ 意欲をもたせる工夫・改善

① 導入の工夫

第1次で巻物のモデルを示し、ゴールを明確に示す。相手意識をもたせる。

④ 意欲を持続させる工夫・改善

① 読解の工夫(本時参照)

② 音読の工夫(本時参照)

③ 学校図書館の活用

全ての児童に図書資料を確保する。

⑤ 自己・相互評価の工夫

① 振り返りシートの工夫

振り返りシートを活用する。

② ペア学習の工夫

「名人試験」を行い、文章理解に自信をもたせる。

単元の目標

- 初めて読む説明文に興味をもち、クイズの巻物作りを楽しみながら文章を読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 問いの文に反応して考えたり、答えを正しく読み取ったり、写真と文を見比べたりしながら、文章を読むことができる。(読むこと)
- 主語と述語の関係、拗音・促音・撥音などに気を付けて音読したり書いたりすることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

【本時の授業の実践と考察】

本時(3/5時)

(※ 考察)

1 前時に作った巻物を音読する。

手だて③-①

2 本時の課題を知る。

課題 「だれが、たべたので書(まつぼっくりへん)」をつくろう！

3 だれが、たべたのでしょうか(まつぼっくりへん)の音読を行う。

手だて④-②

・全体読み(全体)

・「,」「。」読み(ペア)

・つかえ読み(ペア)

・たけのこ読み(全体)

※様々な形態で音読を行うことで、意欲を保ちつつ何度も音読することができた。

4 文章のマークの確認を行う。まつぼっくりの写真を提示し文章と対応させながら、巻物を作る。
 答えとつけたしが問題に正しく対応するように、正しい文を選ぶ。

T: どの答え(つけたし)の文章を巻物に書けば、いいかな?

C: 本文にも「りす」って書かれています。

C: まつぼっくりの食べ方は、写真と本文をよく見ると、まわりだけを食べているってわかるな。

※あえて「だれが」が間違った「答え」の文章を提示したり、「食べ方」が間違った「つけたし」の文章を提示することで、正しい文章を選ぶために、本文をもう一度読み直し、写真を注意深く見直すことができた。

手だて 4-①
 手だて 1-①、②

C: 写真に「りす」が写っているから答えは「りす」です。

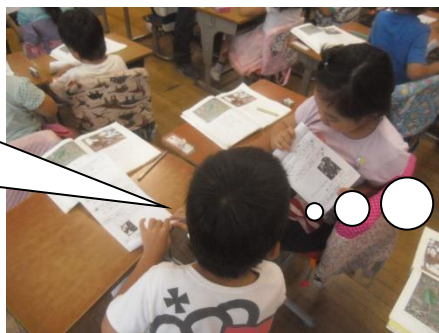


5 ペアで名人試験(音読の交流)を行う。 手だて 2-② 手だて 5-②

C: 「よくみてみよう」「問題」「答え」「つけたし」の順番に書けたね! 合格!

C: 「問い」の後に「答え」がしっかりきているな。写真の内容とあっているな。

※名人試験(ペアで音読)の仕方を明確に提示し、児童同士で確認すると同時に、音読を繰り返すことができた。



6 全体で音読をする。 手だて 4-①

7 学習を振り返り、感想を交流する。次時への意欲を高める。

手だて 2-① 手だて 5-①
 手だて 1-③

C: 巻物作りが楽しかった! また作りたい!

C: 間違いの文章に惑わされなくて、正しい文章の巻物が作れてよかった!

C: まつぼっくりの種って初めて見た! すごい!

※巻物作りの活動を通して、説明文の構成を学習することができた。写真と文章を対応させることもできた。また、テレビに松ぼっくりの様子、種を映し、児童の学習意欲を高めることができた。



【指導講評】さいたま市教育委員会学校教育部指導1課指導主事

古川 明子先生

- 既習事項(クイズの部品、文の要素に合わせたマーク)の活用が理解を深めていた。
- 単元のゴールが明確で、児童が楽しみながら深く学べる巻物作りの活動がよかった。
- 他教科へつなげる指導、学習計画表を使用した児童の活動のめあての明確化がよくできていた。
- クイズの部品、マークは学年や学校で統一した方が、より一貫した指導につながる。
- 学習の振り返りはマークの色塗りから、ステップアップさせ、記述にしてみてもよかった。